

市民と一体となったまちへ向けて



26会計 予算総額 894億5,878万2千円

安心・安全で活力ある協働のまちづくりへ



三原市長 五藤康之

合併2年目として、新市建設計画に基づく長期総合計画の着実な推進を念頭に置き、特に、子どもの安全、子育て支援、高潮などの防災対策、各事業の継続性などを重点に、今年度の予算を編成しました。

海・空の交通の利便性、恵まれた産業基盤などの、特性を活かしたまちづくりにより、都市間の競争を克服していきます。

さらに、一体性を確立するとともに、高度化・多様化する住民ニーズを的確に把握し、安心・安全で活力ある協働のまちづくりに全力で取り組みます。

具体的な施策を抜粋して、長期総合計画の6つの施策大綱に沿って紹介します。

- 人がふれあい、ともに参画するまち
- 人を育む教育・文化のまち
- 健やかに暮らせる安らぎのまち
- 自然と共生する快適で安全なまち
- 活力ある産業のまち
- 交通・情報・観光基盤の充実した交流のまち

人がふれあい、ともに参画するまち

男女共同参画社会の実現

意識調査結果を基に、男女共同参画計画を策定します。また情報提供や講演会の開催などにより、女性が参画しやすい環境づくりに努めます。

住民協働の推進

住民の、積極的なまちづくりへの参加を促進するため、市民活動団体が行う自主的なまちづくり活動を、支援します。

国際交流・国際協力

シンガポールへの少年少女海外研修や、生涯学習などを通じた国際感覚の豊かな人づくり、住民による国際交流活動や情報提供体制の充実など、世界と交流できる地域づくりを推進します。

人を育む教育・文化のまち

生涯学習の推進

今後の活動方針を明らかにするために、生涯学習推進計画や、スポーツ振興計画を策定します。

学習の成果発表、市民講座

学習成果を発表する場として、生涯学習フェスティバルをはじめとする作品展や発表会を実施します。

また各分野の、著名人を招いての市民講座や、地域と連携した公民館祭りなど、全市的な生涯学習活動を、推進します。

学校教育の充実

より専門性の高い教員を育成するための、研修事業を実施します。

また英語指導助手、学校図書館司書、情報教育支援員を充実していきます。



世界各国の人たちが集まって、食事やダンスが行われる国際交流フェスタ

子どもの安全

通学路の環境整備や、地域での見守り体制の整備などを展開します。

また心の教室相談員の相談時間を拡大し、子どもたちや保護者の悩みの解消に努めます。

学校環境の充実

今年度、第五中学校の建設工事が完成します。続いて、久井南小学校の増築、第一中学校改築の実設計



今年度、工事が完成する第五中学校



学校パトロール

に取り組みます。

本郷学校給食共同調理場は、今月から運営を始めます。

文化の振興

引き続き、新文化施設の建設を進めます。

リージョンプラザや、市民ギャラリーなど、各地域の拠点施設での企画展や、市民の芸術・文化活動の発表機会を充実させます。

文化財の保護

三原城跡周辺整備計画の策定、史跡指定地の拡大と公有化に取り組みます。

また、歩き・み・ふれる歴史の道事業や、文化財に関するワークショップ

健やかに暮らせる安らぎのまち

子育て支援

乳幼児医療の助成対象は、10月から、入院・通院ともに小学6年生までに拡大します。

今年度、本郷小学校と久井小学校に、放課後児童クラブを設置します。

保育所の運営

幼稚園、保育所の一元化の機能を持つ総合施設として、大和町の5つの保育所を統合して、大和こども園(仮称)

を開催し、市民意識の向上を図ります。

スポーツの振興

地域のスポーツ施設を活用したスポーツ教室の開催や、各種競技の支援拡大に努めます。

また幼児用プールやスケートボード場建設のための測量・調査に着手します。

青少年の健全育成

生徒の職場体験学習や、不登校対策としての地域スクーリング・サポートセンター事業を実施します。

そのほか、青少年健全育成街頭パレードなど、青少年の健全育成のための各種事業に取り組みます。

健康づくり・介護予防

の設置に向け、取り組みます。

年齢段階に応じた保健対策や、生活習慣を改善して、病気を予防する一次予防に重点を置いた健康づくり推進員による、地域での健康づくり活動を、推進します。

介護、認知症予防など、生活に必要な援助・支援を行う中核機関として、地域包括支援センターを市内に5か所設置します。

社会福祉の充実

障害福祉サービスの充実と、地域での障害者の、自立を支援する地域生活支援事業を推進します。
また実態調査を行い、サービスの必要量を確保するために、障害福祉計画

を策定します。

地域福祉の充実

地域福祉計画に基づき、住民の地域活動への主体的な参加を促し、関係機関などと連携を図りながら、総合的に推進します。

公共下水道

昨年年度までに、1,004ヘクタール（人口普及率約23・3%）の区域で、公共下水道が利用できるようになりました。
今年度は、新たに約73ヘクタールの

を策定します。

生活の安全

汚水管渠の整備を進めます。

消防

心臓疾患患者への対応、救命率の向上のために、各分署の救急車と13か所の公共施設に、自動体外式除細動器（AED）



生命に危険があるときに、心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻す自動体外式除細動器（AED）

を配置します。

10月から、世羅西出張所を設置して、機動力を高めます。

急傾斜地の崩壊対策

新たに、本郷町上北方田村窪地区、沼田小学校東地区の工事に着手します。

高潮対策

県事業として、三原内港地区と松浜地区の高潮対策事業、下木原地区の海岸保全事業が、引き続き実施されます。

また県に対して、海岸高潮事業による護岸のかさ上げなど、さらなる整備の促進を働きかけます。

防犯・防災

意識の高揚を図るために、講演会などを定期的に開催します。

また自主防災組織の拡大を促進します。



地震・防災セミナー

自然と共生する快適で安全なまち

環境保全・廃棄物の処理

環境基本計画や地球温暖化対策実行計画を策定して、循環型社会の実現に向けて、環境保全、創造に関する施策を計画的に推進します。



絶滅が心配されるヒョウモンモドキなどがいつまでも住めるように環境保全に努めます

ごみの発生抑制、再使用、再資源化の3R運動を推進し、ごみの減量化に取り組みます。また今年度から、家庭ごみの出し方を統一し、新たに、容器包装プラスチックの分別収集を開始します。

区画整理

良好な住環境を創出するために、引き続き、本郷東本通土地区画整理事業を推進します。

市営住宅

七宝住宅の建て替え、下津住宅2号棟の建設に着手し、今年度中の完成をめざします。

住居表示

糸崎町・広友町・時貞町・寿町・古城通で住居表示を実施します。

水道事業

経済性・効率性を発揮して、健全な事業運営に努めます。

また簡易水道、専用水道を含めた水道事業の指針となる水道事業基本計画

活力ある産業のまち

農業の振興

国の、経営所得安定対策等大綱による、平成19年度からの農業施策の見直しに対応するため、農業生産法人の育成など、農業の担い手育成を促進します。

林業の振興

地域農産物の消費拡大のために、特産品化と地産地消を促進します。

10月22日（日）に、中央森林公園で第30回全国育樹祭が開催されます。この機会に、森林保全と森林の持つ多面

的機能についての啓発を図ります。

景観林道須波竜王線は、早期完成をめざし、重点的に整備を促進します。

水産業の振興

近代的な漁港施設と、快適な住環境整備のために、幸崎町能地漁港整備事業を、引き続き推進します。

また内水面漁業についても、振興に努めます。

商工業の振興

企業誘致の推進

広域的な交通拠点性を活かして、市内の既存の工業団地や、工業適地への企業誘致を図るとともに、新たな工業団地の整備を促進します。

産業の振興

産・学・行政の連携により、市内企業の事業環境の整備に努めるとともに、事業の高度化・多様化への支援を行います。

商業・サービス業の振興

商工業団体などと連携し、中心市街地の活性化をはじめ、魅力ある商店街づくりを促進します。

中小企業の振興

中小企業金融を円滑化し、経営の安定化を図るため、融資制度を拡充します。

雇用環境の整備

安定した雇用の創出に努めるとともに、助成制度の新設により、障害者の雇用を促進します。

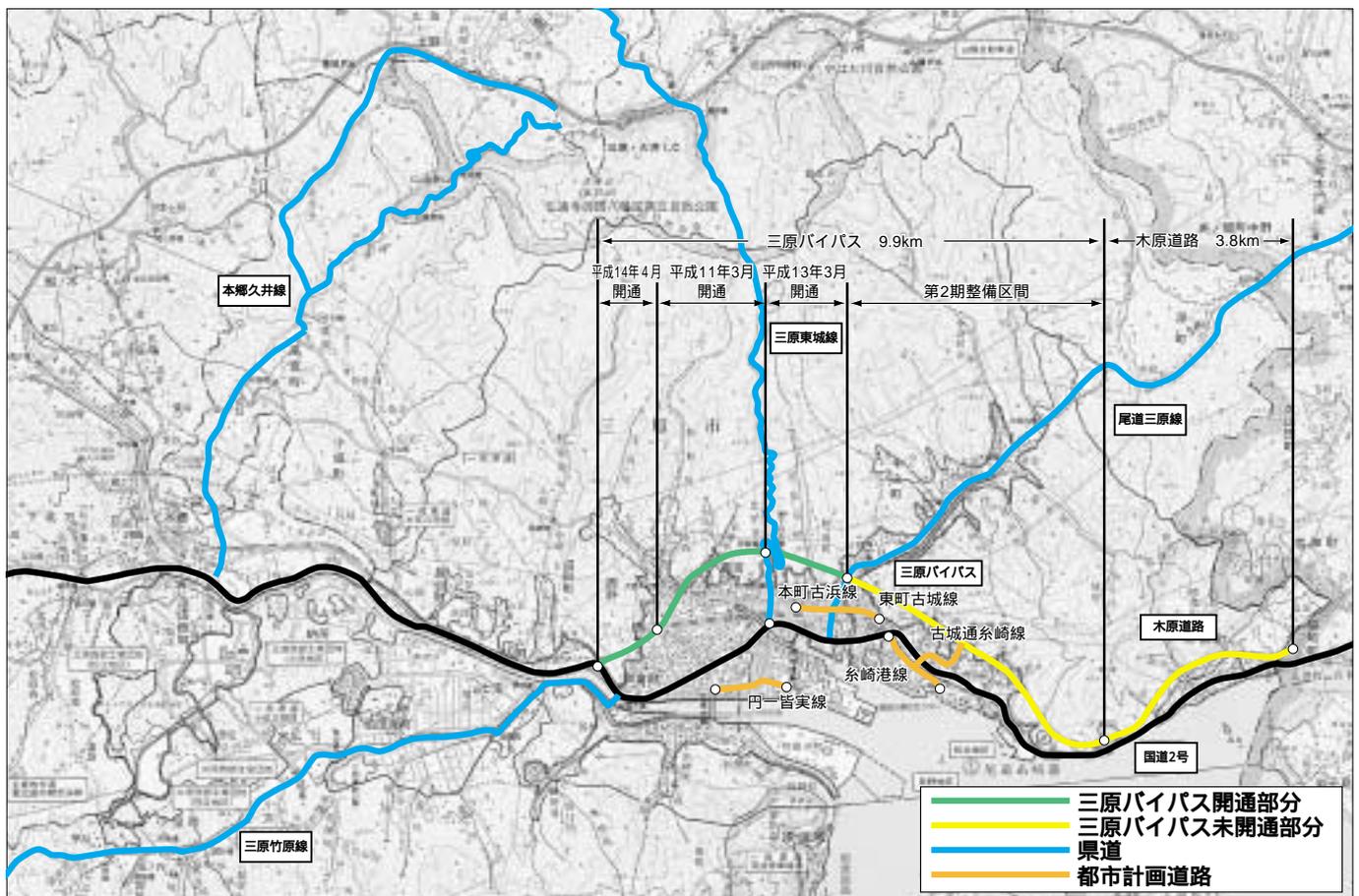
交通・情報・観光基盤の充実した交流のまち

三原バイパス

糸崎町時広ランプから、中之町ランプまでの区間が、来年春からの利用を予定しています。また三原バイパスと、尾道バイパスを結ぶ木原道路については、地元との協議を進めながら、平成20年代前半の全線開通に向けて、引き続き国へ強く要望します。



来年春の開通をめざし、工事の進む三原バイパス第5トンネル(糸崎町)



県道の整備

三原東城線

恵下谷バイパスのトンネル実施設計と、用地測量などを行います。

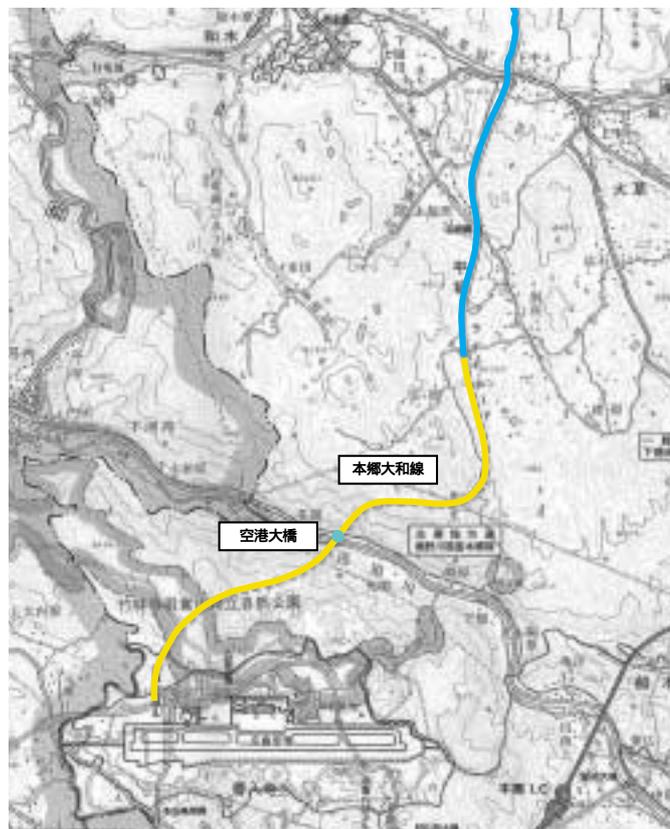
三原竹原線

小泉町の小泉病院前から甲原橋までの区間では、甲原橋の交差点の改良工事が完了し、引き続き事業の促進を図ります。

また小泉病院前から垣井バス停までの区間で、調査・設計を行います。

尾道三原線

中之町の県立三原東高等学校グラウンドから太郎谷までの区間について、



青線 本郷大和線開通部分
黄線 " 未開通部分

引き続き用地取得と一部区間の工事を進めます。

三原本郷線

大西川の西野川への合流地点から井屋峠までの区間は、砂防事業と合わせて引き続き、用地取得などを行います。また小坂町では、大草三原線との交差点付近の用地取得などを進めます。

本郷大和線

今年度は、空港大橋アーチ部の架設に着手します。

都市計画道路

古城通系崎線

国道2号までの道路改良工事や、用

地取得などを進め、来年春の利用開始をめざします。

系崎港線

来年春までの国道2号の改良工事完成に合わせて、全線利用を開始します。

円一皆実線

県立三原高等学校南側の用地取得などを行います。

本町古浜線

引き続き、館町の広島大学附属三原幼稚園・小・中学校付近の用地取得などを行います。

市道の整備

木原町23号線

引き続き、木原踏切北側から木原小学校南側までの区間で、用地取得などを行います。

系崎114号線

松浜東地区の県道と交差する起点部から170m区間で、用地取得などを行います。

本郷町駅前愛宕線

まちづくり事業として、JR本郷駅周辺で、測量調査や用地取得などを行います。

久井町稔迫線

引き続き、県道上徳良久井線との交差部に向けて280m区間の工事を進めていきます。

大和町平坂線

引き続き、姥ヶ原池付近から、県道下徳良本郷線までの区間の工事を進めていきます。

西町29号線

西町一丁目、西野川に架かる第1橋りょうを架け替えるための、測量・設計・調査を行います。

空港・港湾機能の強化



濃い霧などでも着陸が可能になる
高度計器着陸施設

広島空港については、高度計器着陸施設やアクセス道路の整備とともに、新たな公共交通機関の手段を含めた接続強化を促進します。

港湾整備では、引き続き、系崎町松浜・貝野地区で、埋め立てが進められます。

市営バス

今後3年間で、路線維持に配慮しながら、民間移譲を進めます。

生活バス路線は、引き続き維持に努めます。

観光・交流の活性化

関係団体や民間事業者と交流会議を設け、観光客の要求にあった観光地の魅力向上を図ります。
また観光情報の発信などにより、多くの観光客を誘致できる観光地づくり

高度情報化の推進

今年度は、八幡町、高坂町の情報通信基盤を整備します。
整備の完了した地域から、随時行政情報を提供します。

その他

行財政の改善

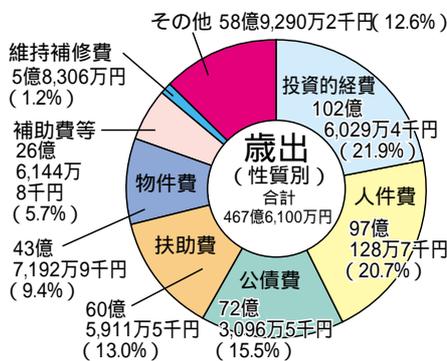
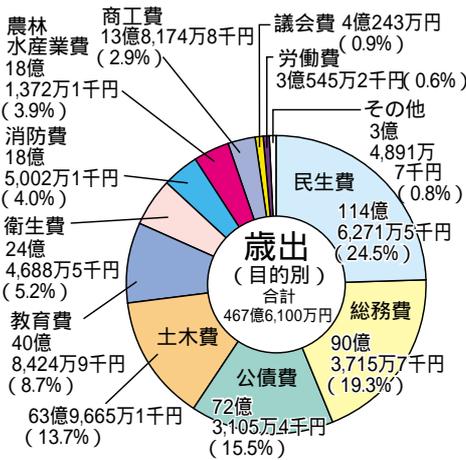
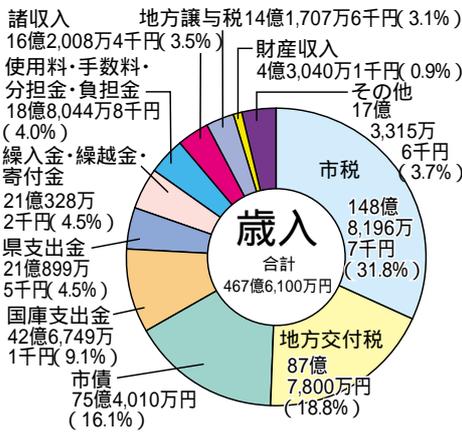
行政が担うべき役割の重点化、民間

活力の導入、事務事業の見直しなど、積極的に行政運営の効率化と、財政の健全化に取り組みます。

新年度予算 一般会計 467億6,100万円

前年度当初に比べ、0.3%減

一般会計 467億6,100万円に、22の特別会計と病院、水道、交通の事業会計を含めた総額は、894億5,878万2千円です。前年度の当初予算と比べ、3.4%の減少です。



投資的経費
補助費等

施設などの建設や災害復旧などの経費
各種団体などに対する補助金や負担金

市政懇談会

住民との信頼関係を高めるために、行政情報の公開・提供、広報・広聴活動の充実を図り、情報の共有化に努めます。

情報の共有化

住民との信頼関係を高めるために、行政情報の公開・提供、広報・広聴活動の充実を図り、情報の共有化に努めます。

予算についての問い合わせ先
財政課 ☎0848676028 FAX0848647101



市政懇談会